

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

庄原市教育委員会
教 育 指 導 課

- 実施日 令和7年4月17日（木）※中学校理科以外の調査
令和7年4月14日（月）～4月17日（木） ※中学校理科 CBT 調査

- 対象学年 小学校第6学年及び中学校第3学年

調査実施教科の平均正答率（％）または IRT スコア

※県及び市の平均正答率については、小数点以下は公表されていない。
※中学校理科は IRT スコアで示されている。IRT とは、項目反応理論と呼ばれる統計理論のことで、生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定することができる。

		庄原市	広島県	全 国
小学校	国 語	69	69	66.8
	算 数	58	59	58.0
	理 科	63	59	57.1
中学校	国 語	56	55	54.3
	数 学	44	47	48.3
	理 科	505～514	495	503

○ 国語の結果

小学校の国語においては、県平均正答率と同等、全国平均正答率を2ポイント程度上回っている。

中学校の国語においては、県平均正答率を1ポイント、全国平均正答率を1.7ポイント上回っている。

○ 算数・数学の結果

小学校の算数においては、県平均正答率を1ポイント下回っており、全国平均正答率と同等である。

中学校の数学においては、県平均正答率を3ポイント、全国平均正答率を4ポイント程度下回っている。

○ 理科の結果

小学校の理科においては、県平均正答率を4ポイント、全国平均正答率を6ポイント程度上回っている。

中学校の理科においては、県平均正答 IRT スコアを10ポイント、全国平均正答 IRT スコアを2ポイント以上上回っている。

県平均・全国平均との比較（領域等別）

▲は県平均正答率未満、△は全国平均正答率未満、

▲△は県平均・全国平均正答率未満、

下線は平均正答率 50%未満

〔小学校第 6 学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	▲75.5	79.4	76.9
		情報の扱い方に関する事項	▲58.9	63.8	63.1
		我が国の言語文化に関する事項	86.3	82.1	81.2
	思考力、 判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	70.8	68.9	66.3
		書くこと	▲71.2	71.7	69.5
		読むこと	59.6	59.6	57.5
問題形式		選択式	▲66.0	66.4	64.7
		短答式	▲77.0	80.5	78.5
		記述式	68.0	63.2	58.8

〔小学校第 6 学年・算数〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域		数と計算	▲61.3	63.0	62.3
		図形	▲56.1	57.1	56.2
		測定	▲54.1	55.3	54.8
		変化と関係	▲53.0	57.5	57.5
		データの活用	▲63.4	63.5	62.6
問題形式		選択式	▲65.0	67.4	67.2
		短答式	▲64.4	65.1	64.0
		記述式	<u>36.4</u>	<u>36.2</u>	<u>34.9</u>

〔小学校第 6 学年・理科〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域		「エネルギー」を柱とする領域	51.5	<u>47.3</u>	<u>46.7</u>
		「粒子」を柱とする領域	54.1	52.7	51.4
		「生命」を柱とする領域	59.0	55.1	52.0
		「地球」を柱とする領域	72.4	68.8	66.7
問題形式		選択式	58.3	55.8	54.7
		短答式	76.4	72.2	69.7
		記述式	58.1	51.5	<u>45.2</u>

〔中学校第 3 学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	<u>49.2</u>	<u>48.0</u>	<u>48.1</u>
		情報の扱い方に関する事項	—	—	—
		我が国の言語文化に関する事項	—	—	—
	思考力、 判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	59.5	53.5	53.2
		書くこと	53.6	52.9	52.8
		読むこと	▲61.5	63.0	62.3
問題形式		選択式	64.8	63.8	63.9
		短答式	74.0	72.3	73.6
		記述式	<u>30.5</u>	<u>27.1</u>	<u>25.3</u>

〔中学校第 3 学年・数学〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域		数と式	▲42.3	<u>42.6</u>	<u>43.5</u>
		図形	▲38.5	<u>45.2</u>	<u>46.5</u>
		関数	▲45.5	<u>47.7</u>	<u>48.2</u>
		データの活用	▲53.2	58.0	58.6
問題形式		選択式	55.2	54.3	54.0
		短答式	▲45.4	50.2	52.0
		記述式	▲35.7	<u>39.3</u>	<u>39.6</u>

〔中学校第 3 学年・理科〕

※中学校理科は結果が IRT スコアで示されているため、IRT バンド集計値を比較する。

IRT バンド	庄原市	広島県	全国
5	7.2	4.8	6.2
4	19.9	19.3	20.3
3	42.0	42.6	42.0
2	28.2	28.9	27.3
1	2.8	4.3	4.2

令和7年度全国学力・学習状況調査における成果と課題

1 各調査問題における無解答率の平均 (%)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	1.6	2.4	3.3	国語	5.4	6.1	6.7
算数	2.0	2.5	3.6	数学	8.0	9.1	10.6
理科	1.0	1.8	2.8	理科	0.4	1.5	1.8

2 各調査問題における正答率 40%未満の児童生徒の割合 (%)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	10.8	10.0	12.0	国語	21.0	22.3	22.5
算数	24.9	25.2	26.3	数学	49.2	48.3	47.1
理科	14.1	19.0	21.7	※理科	31.0	33.2	31.5

※小数点第2位を四捨五入

※中学校理科は IRT バンド5段階中2未満の児童生徒の割合

3 各調査における成果 (○) と課題 (●)

【小学校国語】

○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。

【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する問題 【大問3設問1】86.3%

○図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する問題 【大問2設問2】81.3%

●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。

【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する問題 【大問3設問3(1)】39.8%

●事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

【資料3】を読み、【木村さんのメモ】空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する問題 【大問3設問2(2)】53.1%

【小学校算数】

○異分母の分数の加法の計算をすること。

$1/2 + 1/3$ を計算する問題

【大問 3 設問 (4)】 90.9%

○角の大きさについて理解すること。

角をつくる二つの辺をそれぞれ伸ばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ問題

【大問 2 設問 (3)】 80.5%

●分数の加法について共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。

$3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く問題

【大問 3 設問 (2)】 23.2%

●数直線上で、1 の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。

数直線上に示された数を分数で書く問題

【大問 3 設問 (3)】 26.6%

【小学校理科】

○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現すること。

赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件に付いて、コップ A の土の量と水の量から、コップ B の条件を書く問題

【大問 1 設問 (1)】 82.5%

○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して、表現すること。

【結果】や【問題に対するまとめ】から、中くらいの粒の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、予想した理由とともに選ぶ問題

【大問 1 設問 (3)】 82.5%

●身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていること。

アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ問題

【大問 2 設問 (1)】 7.1%

●レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。

レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見いだした問題について書く問題

【大問 3 設問 (4)】 40.0%

【中学校国語】

- 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること。

「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く問題

【大問3設問2】88.4%

- 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する問題

【大問2設問2】81.8%

- 文章構成や展開について、根拠を明確にして考えること。

「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣りの話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く問題

【大問3設問4】22.1%

- 文脈に即して漢字を正しく使うこと。

変換した漢字として適切なものを選択する問題

【大問1設問1】28.7%

【中学校数学】

- 必ず起こる事柄の確率について理解すること。

Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く問題

【大問7設問(1)】74.0%

- 事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。

A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間での走行距離が分かるかを選ぶ問題

【大問8設問(1)】71.8%

- 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。

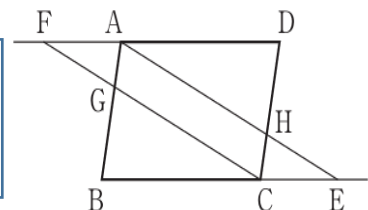
$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であるかを説明する問題

【大問6設問(2)】19.9%

- ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。

平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線状に $BE=DF$ となる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する問題

【大問9設問(3)】28.2%



【中学校理科】

※中学校理科は、生徒ごとに異なる問題を解いているため、共通問題の中から掲載する。

- 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現すること。

水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する問題

【大問1設問(6)】92.3%

- 塩素の元素記号を問うことで、元素を記号であらわすことに関する知識及び技能が身に付いていること。

塩素の元素記号を記述する問題

【大問1設問(5)】27.1%